

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		二次予防対象者(特定高齢者)介護予防ケアマネジメント事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田秀一郎	
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	坂井晴代	
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2151	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法第115条の45第1項第2号・5号及び法第115条の2	成果優先度評価結果	
		介護	11	2	1	10451			コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	二次予防対象者(特定高齢者)に対する介護予防プランの作成平成18年度介護保険法の改正により実施介護予防という考えが、介護保険法の改正により制度化された。しかし、特定高齢者の選定基準(H18⇒H19緩和・健診体制の変更H20から)が毎年変わっており、事業効果は認められるが、統一性に欠ける。 H22.8介護保険要綱改正に伴い、特定高齢者の名称が二次予防対象者に変更されている。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	二次予防対象者(特定高齢者)を対象とした事業(運動・栄養・口腔・認知症予防の事業)に参加される方個人ごとに、現在の状況から事業実施後の目標等を定め達成できるようマネジメントを行う。
【主な予算費目】	人件費・需用費
【意見や要望】	特に聞いていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
二次予防対象者(特定高齢者)に選定された方で、事業参加を希望された方にケアマネジメントを行った。	22年度と同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア マネジメント数	件 育児休暇保健師復帰に伴う代替職員賃金の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
二次予防対象者(特定高齢者)のうち事業への参加者	(単位)
	→ ア 事業に参加される特定高齢者数 人
	イ 特定高齢者のうち事業への参加率 %
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
介護状態になる恐れのある二次予防対象者(特定高齢者)が、目標を持って現在の状態の改善を図る。	(単位)
	→ ア 状態が維持・改善された特定高齢者数 人
	イ 事業参加者の維持・改善率 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
二次予防対象者(特定高齢者)が本事業に参加することにより状態改善、維持、身体向上を図り自立した生活を継続できるように設定した。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア 件		47	75	75	46	75	75	85	
	イ									
②対象指標	ア 人		38	52	75	42	52	70	70	
	イ %		8	10.4	12	12.5	13	14	14	
③成果指標	ア 人		26	38	76	16	38	40	40	
	イ %		68.4	73	73	38	38	40	40	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	5	16	985	886	354	354	354
		都道府県支出金	千円	2	7	492	443	177	177	177
		地方債	千円							
		その他	千円	2	7	493	443	177	177	177
		繰入金	千円	3	7	492	444			
	一般財源	千円					168	168	168	
人件費	(A)事業費計	千円	12	37	2,462	2,216	876	876	876	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	365	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	74	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	2	1	4	2	2	2	
人件費	延べ業務時間	時間	200	300	200	260	350	350	350	
	(B)人件費計	千円	800	1,194	796	1,071	1,442	1,442	1,442	
トータルコスト(A)+(B)		千円	812	1,231	3,258	3,287	2,318	2,318	2,318	

総トータルコスト
全体計画
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	二次予防対象者（特定高齢者）介護予防ケアマネジメント事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 参加者の多くが教室での講習・訓練を通じ、要介護状態にならないように状態改善は図られたが、参加者数が少なく統計上有意な結果とならなかった。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 本年度もより効果のある事業を展開していくため、目標達成は可能である。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 送迎有りの通所型事業へ転換し参加者は増加しているが、少数である。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 二次予防対象者（特定高齢者）事業へ参加者のマネジメントを行うための最小限の経費である。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 介護予防のケアマネジメントについては、専門的知識を有する保健師の業務と定められており、削減余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市が行う特定高齢者事業参加者へのマネジメントであるので、公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 認知度が高く設備の整ったユウパレス弁天で実施している。また専門の事業所に委託しており適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加者の介護予防に寄与した。今後は周知を図り多くの参加があるように工夫しなければいけない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						